

5000万人の命が救われました

2021年末までにグローバルファンドのパートナーシップが支援したプログラムによって5000万人の命が救われました。2002年以来、エイズ、結核、マラリアを総合した死亡率は半分以下になりました。一つひとつの命を救い、一つひとつの感染を予防したことで、家族にも、コミュニティにも、支援対象国全体にも、多大な効果がもたらされたのです。死に至る可能性のある三大感染症との闘いは、グローバルファンドのパートナーシップを構成する、コミュニティ、プログラム実施国の政府、民間セクター、市民社会、技術専門家といった、多様なメンバーによって主導されています。

私たちは力を結集し、大きな進歩を遂げてきました。しかし闘いは終わってはいません。紛争や気候変動、そして新型コロナウイルス感染症その他の国際保健上の課題といった危機が、闘いの成果を後戻りさせようとしています。

エイズ、結核、マラリアのない世界を目指しつつ、各国が将来のパンデミックへの備えを強化できるよう、取組を加速化していくために、引き続き資金を投じていく必要があります。



三大感染症対策の現状

HIV/エイズ

グローバルファンドは、国際的なエイズ対策支援金の30%を提供しています。支援対象国におけるエイズ関連の死亡者数は2002年から2021年にかけて70%減少しました。抗レトロウイルス治療を必要とする人々が治療を受ける割合は2010年の23%から2021年の75%と、この10年で大幅に上昇しています。新型コロナウイルス感染症によりエイズ関連サービスも阻害されましたが、グローバルファンドのパートナーシップは屈しませんでした。支援対象国では、必要性のもっとも高い人々に対するHIV検査や予防サービスが2021年に従来通りに戻り始めました。

主な成果

- 2330万人** 抗レトロウイルス治療を受けているHIV陽性者
- 7080万件** HIV検査実施数(1260万件は優先度の高い人々/脆弱なキーポピュレーション向け)
- 1250万人** エイズ予防サービスを受けた人々
- 67万人** 自らの命と母子感染予防のために医療を受けたHIV陽性の母親
- 110万件** エイズ予防目的で行われた自発的な男性割礼手術

結核

グローバルファンドは、国際的な結核対策支援金の76%を提供しています。支援対象国における結核死亡者数(HIV陽性者を除く)は2002年から2020年にかけて21%減少しました。グローバルファンドは技術専門家やプログラム実施国との協働のもと、検査や治療を加速化し、「見逃された」結核罹患者を見つけ出すために、引き続き先鋒役を担っていきます。グローバルファンドのパートナーシップによる対策が奏功し、結核プログラムは2021年に新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響から回復し始め、治療者数が増加しました。

- 530万人** 結核治療を受けた人々
- 11万人** 薬剤耐性結核の治療を受けた人々
- 1600人** 超多剤耐性結核の治療を受けた人々
- 28万3000人** 抗レトロウイルス薬を服用しているHIV陽性結核患者
- 39万5000人** 結核に暴露し予防治療を受けた人々

マラリア

グローバルファンドは、国際的なマラリア対策支援金の63%を提供しています。支援対象国におけるマラリア死亡者数は2002年から2020年にかけて26%減少しました。2021年は、より多くの蚊帳や季節性マラリアの化学的予防(服薬)といった予防的サービスをマラリア感染リスクの高い人々に提供し、引き続き前進しました。2021年はマラリアの検査や治療の登録数も増加し、グローバルファンド支援による対策は2020年の後退から回復しました。

- 1億3300万張** マラリア予防のため配布された家庭用蚊帳
- 2億8000万件** マラリアが疑われる症例の検査
- 1010万件** 屋内残留性噴霧を受けた建物
- 1250万人** 予防的治療を受けた妊婦
- 1億4800万人** マラリア治療を受けた人々

保健システムの強化

強靱で持続可能な保健システムは、現在の感染症を克服し、将来の脅威に対応するための活動の基盤です。グローバルファンドは保健システム強化への無償資金供与において、世界最大の国際機関です。2021-2023年のプログラム実施期間にわたり、三大感染症対策支援や新型コロナ対応メカニズムを通じて、公的およびコミュニティにおける保健システムに各年15億米ドル、総計49億米ドルを投じています。これはグローバルファンドによる投資総額の3分の1にあたります。

多くの国において、エイズ、結核、マラリア対策として構築されたコミュニティシステムなどの保健システムが、新型コロナウイルス感染症の対応において中心的役割を果たしています。こうしたシステムが、パンデミックとの闘い、そして他の疾病への悪影響を軽減することにおいて、大きな成果をもたらしました。基盤となるシステムと能力の強化を継続することにより、私たちは現在の感染症を打倒し、将来の感染症に備えることができます。



Suzy Haylock氏とボランティアのチームメンバー。コミュニティ・ヘルスワーカーの一員として、ホンジュラスのマラリア打倒計画の中核を担っている。

The Global Fund/Tomas Ayuso/Panos

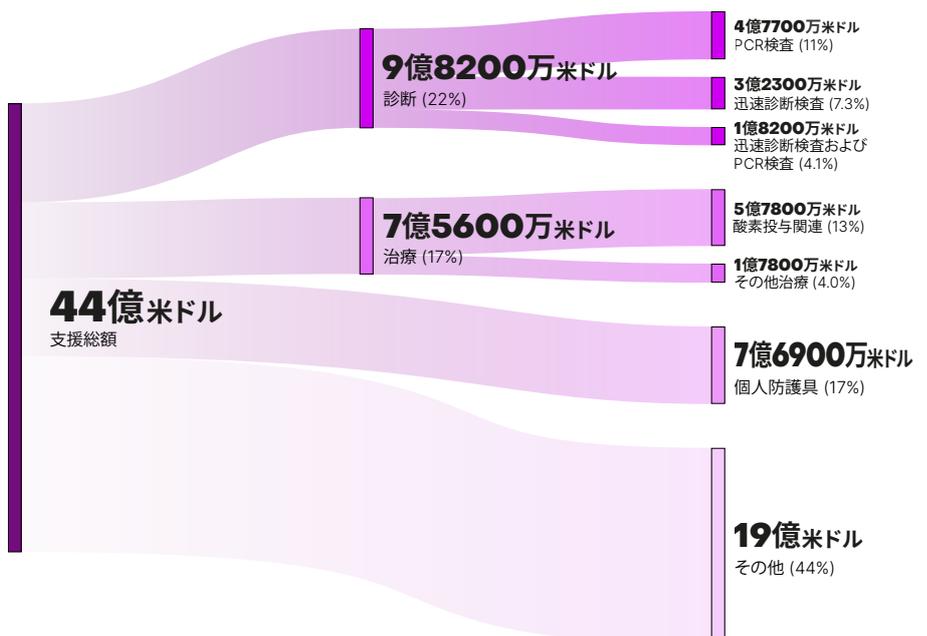
新型コロナウイルス感染症およびその他危機との闘い

公衆衛生を脅かすエイズ、結核、マラリアを終息させ、世界の保健安全保障に対する新たな危機に対処するには、最も脆弱な人々に、たとえ彼らがどこにいようと、予防と治療サービスを届けていく必要があります。これはすなわち、プログラム運営が困難な環境により鋭く絞ることを意味します。その環境とは、感染症のアウトブレイク、自然災害、武力紛争や暴動、脆弱なガバナンス、気候変動関連の危機、多数の避難民などの問題を抱えた国や地域です。

グローバルファンドは新型コロナウイルス感染症のエイズ、結核、マラリアへの影響を軽減するために、新型コロナ対応メカニズムと柔軟な資金運用を通じて、44億米ドル以上の資金を供与しています。この資金供与により、各国は既存の対策を迅速に適応させ、個人防護具や診断・医療用品を調達し、予防キャンペーンを展開することができました。こうした迅速な対応により、新型コロナウイルス感染症から命を守るとともに、エイズ、結核、マラリアによる死者数の急増を防ぎました。

新型コロナウイルス感染症対策資金供与

対策種別 (2022年7月現在)



「その他」の区分には人的資源の確保、技術支援、サーベイランスと検査ラボのシステム強化、エイズ、結核、マラリア対策に対する影響の軽減といった活動のほか、諸々の医療・非医療機器などが含まれています。